

精密小型CNC旋盤

NUCBOY-8EX

FANUC Series 0i-TD 付

機械番号 #3508

取扱説明書



ときめき技術で未来を拓く

株式会社 **エグロ**

<http://www.eguro.co.jp>

仕様

1. 標準仕様

■ 機械標準仕様

ここでは、機械の基本的な仕様を示します。この機械に特別仕様等のある場合には巻末資料の特別仕様明細をご参照ください。

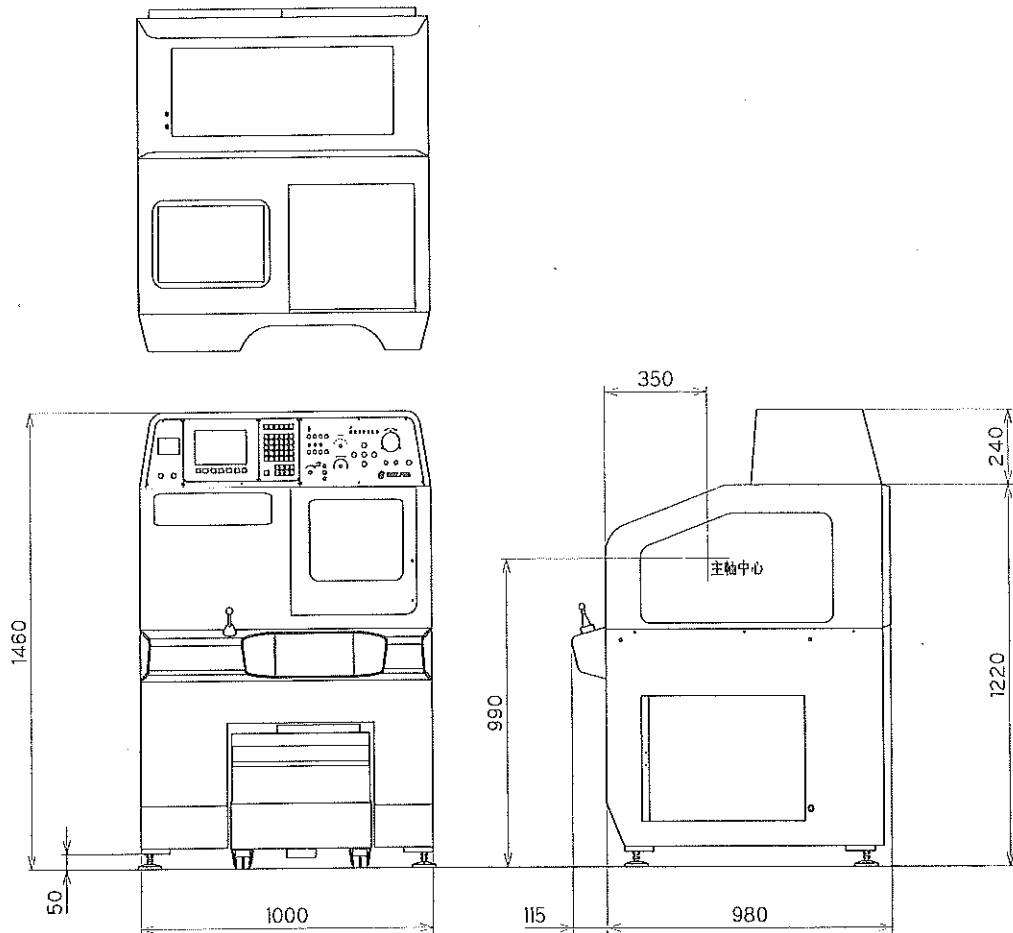
NUCBOY-8EX			
仕 様		単 位	標準仕様
能 力	ベッド上の振り	mm	270
	横送り台上の振り	mm	100
主 軸	コレット形式・番号		EDA-8
	コレット貫通穴口径	mm	max. φ20
	コレット胴径	mm	φ25
	回転速度指令		S4桁 直接指令
	回 転 速 度	min ⁻¹	500~4,000
切 削 台	横軸(X)移動量	mm	230 (浴油式)
	縦軸(Z)移動量	mm	200
	横軸(X)移動速度	m/min	15
	縦軸(Z)移動速度	m/min	15
	ジョグ送り速度	mm/min	0~1,260
	角バイトシャンク部高さ	mm	13
	工 具 本 数		ワーク形状による
	刃物台形式		クシ刃形固定式
電 動 機	主 電 動 機	V-kW-P	200-1.5-4 (インバータ)
	主軸駆動方式		ベルト駆動
	刃物台電動機X軸	kW	0.75 FANUC AC サーボモータ αiF 2/5000
	刃物台電動機Z軸	kW	0.75 FANUC AC サーボモータ αiF 2/5000
	切削油ポンプ	W	60
	潤滑油ポンプ	W	3
所要動力源	電 源 電 力	kVA	6.2 (3.6kW)
	電 源 電 圧	V	200/220 (3相)
	電 源 周 波 数	Hz	50/60
	空 気 圧 源 圧 力	MPa	0.4
照 明 灯	w	10	
機 械 の 高 さ	mm	1,450	
床面から主軸中心までの高さ	mm	986	
所 要 床 面 積	mm	1,000×1,100 (幅×奥行)	
機 械 質 量	Kg	680	
制 御 装 置		FANUC Series 0i-TD	

■ CNC標準仕様

NUCBOY-8EX	
仕 様	標準仕様
C N C 装 置	FANUC Series 0i-TD
制 御 軸 数	2軸 同時2軸
補 間 形 式	直線・テーパ・円弧・ねじ切り
プログラム入力方式	MDI・メモ리카ード
指 令 方 式	インCREMENTAL・アブソリュート併用
プログラムコード	EIA/ISO自動判別
最小設定単位	X:0.001mm(直径) Z:0.001mm
最小移動量	X:0.0005mm Z:0.001mm
最大指令値	±99999.999mm
切削送り速度	0~4,000mm/min.
ねじ切り送り速度	0~4,000mm/min.
工具補正(64組)	0~999.999mm
ド ウ ェ ル	0~999.999秒
バックラッシュ補正	0~999μm
パルスハンドル送り	0.1/0.01/0.001mm
テープ記憶編集長	512Kbyte (1280m相当)
補助機能・主軸機能・工具機能	M・S・T
単 一 形 固 定 サ イ ク ル	外径切削サイクル(G90) ねじ切りサイクル(G92) 端面切削サイクル(G94)
リファレンス点復帰	手動・自動(G27, G28)
デ ー タ 表 示	8.4インチカラー液晶
データ入出力インターフェイス	メモ리카ード
そ の 他	シーケンス番号サーチ
	シングルブロック・オーバトラベル
	ブロックデリート
	オプショナルストップ(M01)
	フィードホールド
	面取り・コーナーR機能/図面寸法直接入力
	*1 ハンドルランライト (プログラムリトレース)
	工具形状磨耗補正・稼働時間部品数表示
	画面 日本語(英語、中国語、韓国語他も可)
	プログラマブルデータ入力(G10)
	刃先R補正(G40~G42)
	複合固定サイクル(G70~G76)
	穴あけ固定サイクル(G83~G86)
	カスタムマクロ B
	拡張テープ編集
	バックグラウンド編集
ねじ切りリトラクト	
連続ねじ切り	

*1 M・S・T命令がある行では、逆行はできません。

1.3 全体図



1.4 据付け

1. 据付け場所

切削油剤タンクからの切粉の取り出し、カバーの取外し、電気装置の点検などのため、本機の周囲には750mm程度の余裕のある場所を選定してください。

2. 吊上げ

機械本体の吊上げは、専用の吊上げ金具を使い、一度わずかに吊上げてバランスの確認をした上で行って下さい。

また、ワイヤが本機に直接当たる場合には、当て木・当て布等を取付けて機械本体を保護して下さい。

機械の上げ降ろしは慎重に行い、特に降ろす時は床面に激突させないように注意して下さい。